

特集

変わる料飲市場

今、顧客が集う

BOLT

和食工房 すーさんの台所

魚まみれ真吉 代々木八幡店

神楽坂 あかべえ 櫛

個人店の悩み解消企画

「マギー 無添加ブイヨン&コンソメ」シリーズが
ワインダイニングの問題解決

[HOTEL DRINK最前線]

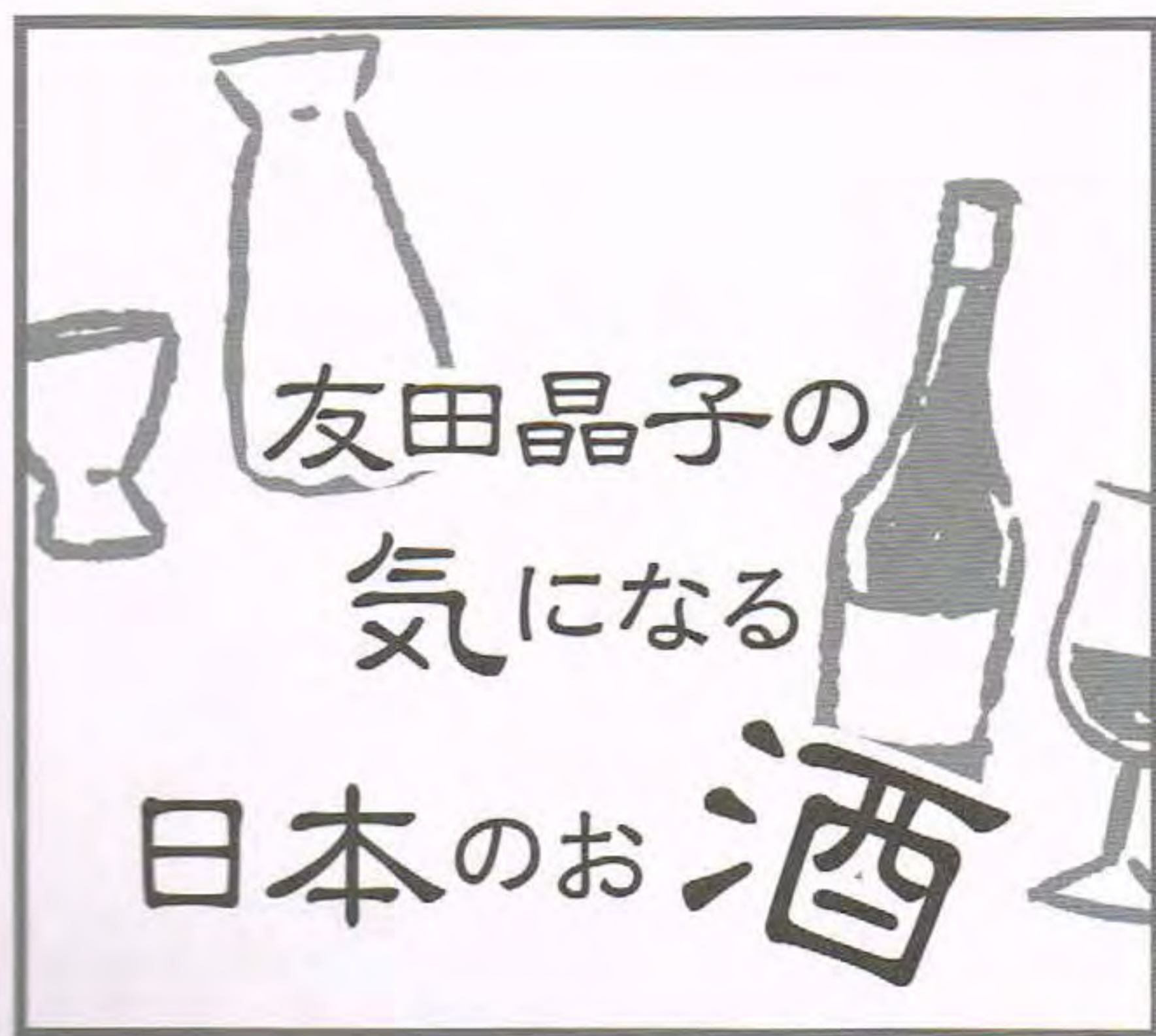
東京ドームホテル 第15回「夏の特別賞味会」

特別企画・イタリア赤ワインに日本料理

2018秋・冬 新商品



安川哲二の今月の一品 銀座神谷の十二ヶ月



越前漆器「JAPAN Glass」の復興五輪の乾杯を！



JAPAN Glass
1万2960円～(税込)
山久漆工
Tel.0778-65-0101 (平日9時～17時)

打ち刃物造りや沖縄民謡や寿司造りなど特定の日本文化を強烈に愛している外国人を日本に招待し、全国各地の専門家の元で修行するドキュメンタリー番組が人気だ。先日は、漆に興味を持つ外国人女性が日本で漆体験をする姿を追っていた。日本人でも最近では漆器離れだし、漆そのものを知らない若い人もいるくらいで、外国人がそれはそれは真剣に漆や漆器と向き合っている姿に、感謝と敬意の気持ちがどっと沸いた。

わがふるさと福井には1500年の歴史を誇る越前漆器がある。日光東照宮建立の際に、徳川幕府は大量の漆液採集を越前に命じたと言われるほど質量ともに最高級といえる漆の里だ。子供のころは食卓に様々な漆器が並んでいたけれど、時を経て、今や東京在住となると、お恥ずかしながら本物の漆器はほんの数えるほどしか身近にない。

しかし、お酒の仕事をして出会った素晴らしい漆酒器の存在は知っている。ステムが漆器でお酒の入る部分がガラスという和洋折衷のガラス酒器だ。名前は「JAPAN Glass」。越前漆器の山久漆工の作品だ。

ステムは、天然木を使い、曲りや歪み、反りを出さない工夫が施され、漆を何回も何回も丁寧に塗り重ね、鮮やかで深みのある色合いや照りを生み出している。また漆器とガラスの接合も特有の技術を要しているから

しく、様々な試行錯誤でできた作品といえる。

日本ワインや日本酒、焼酎を飲むにはこれほどびっぴりたりの酒器はないだろう。「金箔」や「桜蒔絵」のシヤンパングラスに、「朱漆 天縁金蒔絵」、「黒漆 日月蒔絵」などのワイングラスが全部で9種類。格調高く、落ち着きと品格があり、それでいてどこか優しい風合いの漆グラス。漆体験で番組出演していた外国人女性ならずとも、日本を訪れた外国人旅行者には、絶対ウケるはずだし、お土産にも適している。

漆の需要は激減しているうえに、2004年には福井豪雨が越前漆器の産地を襲い、2007年の能登半島地震では輪島の産地が、2011年東日本大震災では福島県会津塗の地が被害をうけ、漆器業界にも重い影ののしかかっている。

先日発表された東京2020のテーマは「鎮魂と再生」だとか。「JAPAN」は日本という意味のほかに「漆」の意味を持つことを今一度思い出し、復興五輪で漆の出番が来ることを祈りたい。